

公共事業事後評価調書

1 事業概要		整理番号	H25 - 2	
事業種別	水産基盤整備事業	事業主体	青森県	
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	野辺地地区 (野辺地町)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
		財源・負担区分	国50%	県40% 市町村10% その他 %
事業の背景・必要性	<p>本地区は、陸揚げ用係船岸の不足により、陸揚げ待ち時間が発生し、漁港用地の不足により、集落内への漁具の仮置きをせざるを得ないなど、作業効率が悪い状況にあったほか、狭隘な集落道や私有地を通過しなければ主要道路に至らないため、渋滞や事故が発生し、漁獲物の輸送等に支障を来していた。</p> <p>本事業は、この状況を改善し、漁業活動の効率化と安全性の向上を図るため、係留施設、用地及び道路を整備し、水産物の安定供給と水産業の維持・振興を図るため、漁場を一体的に整備したものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	<p>【野辺地漁港の整備】北防波堤34m、護岸271m、-2m泊地2,055㎡、-2m物揚場95m、道路998m、漁港施設用地10,853㎡、漁港施設用地(舗装)6,316㎡</p> <p>【野辺地漁場の整備】増殖場(着定基質工)13ha</p>			
想定した事業効果	<p>(金銭価値化が可能な効果)</p> <p>(1)水産物生産コストの削減効果 (2)漁業就業者の労働環境改善効果 (3)生活環境の改善効果 (4)漁獲可能資源の維持培養効果</p> <p>(その他の効果)</p>			
事業の実施経過	(事業着手) 平成13年度	(用地着手) 平成19年度	(工事着手) 平成13年度	(事業完了) 平成20年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-) (当初計画時)	再評価時(H18年)	事後評価時(H25年) (最終実績)	
事業期間(事業着手~事業完了)	H13 ~ H17	H13 ~ H21	H13 ~ H20	
総事業費	1,050 百万円	1,110 百万円	972 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H18年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手~事業完了)	H13 ~ H21	~	~	~
総事業費	1,110 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	<p>長期継続(5年)により、平成18年度に再評価を実施。対応方針は「継続」。附帯意見は無し。 第1回計画変更、臨港道路における渋滞や交通事故の発生を解消のため、漁港と主要道路との接続道路の追加や既設臨港道路の線形改良を追加したことにより、道路延長が増となった。</p>			
(事業概要図)				
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614	
		E-MAIL	gyoko@pref.aomori.lg.jp	

2 事業完了後の状況

整理番号 H25 - 2

社会経済情勢等の変化

(1) 本事業で整備した用地に、平成17～18年度にかけて「常夜燈公園」(事業主体: 県)が整備され、平成19年度の供用開始以降、多くの地域住民に利用されている。
 (2) 本事業で整備した用地を利用し、平成19年度から漁業協同組合主催の朝市が毎週土曜日に開催されており、多くの買い物客で賑わいをみせている。
 (3) 本事業で整備した用地に、平成21年度に水産物荷捌き所(事業主体: 漁協)が建設され、荷捌作業の効率化が図られた。
 (4) 平成22年の猛暑に伴う高水温の影響により、ホタテガイの大量死が発生し、漁業経営等に大きな影響があった。

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

漁場施設の分析の算定基礎となった直近5ヶ年のナマコの産地市場平均価格は、H18再評価時に比べ約3倍となっており、費用便益比率が増加している。

事業効果の発現状況

(金銭価値化が可能な効果)

(1) 水産物生産コストの削減効果 【年間便益額: 8,177千円】

事業実施前は、物揚場不足などによる混雑により、陸揚げ出荷作業等に時間を要していたが、事業実施後はこれらの時間ロスが解消され、水産物生産コストの削減につながった。
 【達成度】に関するアンケート結果では、陸揚げ出荷作業の効率化について、「達成(おおむね達成)された」と回答した人の割合は約78%となっており、「達成(あまり達成)されていない」の約5%を大きく上回った。

(2) 漁業就業者の労働環境改善効果 【年間便益額: 25,219千円】

事業実施前は、用地不足などによる混雑により、養殖資材の積み降ろしや運搬等に時間を要していたが、事業実施後はこれらの養殖作業が効率的になり、労働環境の改善につながった。
 【達成度】に関するアンケート結果では、養殖作業の効率化について、「達成(おおむね達成)された」と回答した人の割合は約71%となっており、「達成(あまり達成)されていない」の約5%を大きく上回った。

(3) 生活環境の改善効果 【年間便益額: 61,305千円】

事業実施前は、臨港道路が未整備であったため、交通渋滞が発生するなど、市街地から漁港へのアクセス等に時間を要していたが、事業実施後はこれらが解消され、生活環境の改善につながった。
 【達成度】に関するアンケート結果では、安全性向上、効率化について、「達成(おおむね達成)された」と回答した人の割合は約67%となっており、「達成(あまり達成)されていない」の約11%を大きく上回った。

(4) 漁獲可能資源の維持培養効果 【年間便益額: 50,588千円】

増殖場の整備により、近年のナマコの年間漁業生産量が増加しており、漁獲可能資源の増大につながった。
 【達成度】に関するアンケート結果では、漁獲資源の増加について、「達成(おおむね達成)された」と回答した人の割合は約57%となっており、「達成(あまり達成)されていない」の約13%を大きく上回った。

(その他の効果)

-

(参考(費用便益比))

	当初計画時(H12年)	再評価時(H18年)	事後評価時(H25年)
総費用(C)	951 百万円	1,157 百万円	1,580 百万円
総便益(B)	1,300 百万円	2,401 百万円	4,198 百万円
費用便益比(B/C)	1.37	2.08	2.66

(特記事項)

-

<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備した漁港施設は、漁港管理者である県が維持管理を行っている。また、清掃、見回り等の日常管理については漁協に協力を依頼している。 【管理状況】に関するアンケート結果では、「適切(おおむね適切)」と回答した人の割合が約55%となっており、「適切(あまり適切)でない」の約5%を大きく上回った。</p>	<p>問9 管理状況</p> <table border="1"> <caption>問9 管理状況</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適切</td> <td>28</td> <td>36.8%</td> </tr> <tr> <td>おおむね適切</td> <td>36</td> <td>47.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない(わからない)</td> <td>2</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり適切でない</td> <td>2</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>適切でない</td> <td>6</td> <td>7.9%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	人数	割合	適切	28	36.8%	おおむね適切	36	47.4%	どちらとも言えない(わからない)	2	2.6%	あまり適切でない	2	2.6%	適切でない	6	7.9%																					
回答	人数	割合																																							
適切	28	36.8%																																							
おおむね適切	36	47.4%																																							
どちらとも言えない(わからない)	2	2.6%																																							
あまり適切でない	2	2.6%																																							
適切でない	6	7.9%																																							
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>(「環境影響への配慮」の効果発現状況(特に留意した配慮内容がある場合)) 工事現場周辺の水産動植物などへの影響を防止するため、浚渫及び埋め立て工事の際は、事前に底質の分析試験を行ったほか、水中コンクリートによる護岸工事の際は、汚濁防止膜を設置して水質の汚濁防止に努めた。</p> <p>(その他の環境の変化) 【環境変化「レクリエーション空間(公園)」、「歴史的・文化的環境」】 平成17～18年度にかけて町指定史跡の「常夜燈」を核とした「常夜燈公園」を整備しており、平成19年度の供用開始以降、多くの地域住民に利用されている。 【環境変化】に関するアンケート結果では、「レクリエーション空間(公園)」と「歴史的・文化的環境」に関して特に高い評価を得ており、「良く(やや良く)なった」と回答した人の割合がそれぞれ約74%、78%となっており、「悪く(やや悪く)なった」の約1%を大きく上回った。 理由として、以下の意見などがあった。 ・子供の遊び場になっているので、良いと思う ・常夜燈を見に来る観光客が増えたので、良いと思う</p>	<p>問10-6 レクリエーション空間(公園)</p> <table border="1"> <caption>問10-6 レクリエーション空間(公園)</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良くなった</td> <td>27</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>やや良くなった</td> <td>29</td> <td>38.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない(わからない)</td> <td>16</td> <td>21.1%</td> </tr> <tr> <td>やや悪くなった</td> <td>1</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>悪くなった</td> <td>3</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>問10-7 歴史的・文化的環境</p> <table border="1"> <caption>問10-7 歴史的・文化的環境</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良くなった</td> <td>32</td> <td>42.1%</td> </tr> <tr> <td>やや良くなった</td> <td>27</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない(わからない)</td> <td>13</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>やや悪くなった</td> <td>3</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>悪くなった</td> <td>1</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	人数	割合	良くなった	27	35.5%	やや良くなった	29	38.2%	どちらとも言えない(わからない)	16	21.1%	やや悪くなった	1	1.3%	悪くなった	3	3.9%	無回答	1	1.3%	回答	人数	割合	良くなった	32	42.1%	やや良くなった	27	35.5%	どちらとも言えない(わからない)	13	17.1%	やや悪くなった	3	3.9%	悪くなった	1	1.3%
回答	人数	割合																																							
良くなった	27	35.5%																																							
やや良くなった	29	38.2%																																							
どちらとも言えない(わからない)	16	21.1%																																							
やや悪くなった	1	1.3%																																							
悪くなった	3	3.9%																																							
無回答	1	1.3%																																							
回答	人数	割合																																							
良くなった	32	42.1%																																							
やや良くなった	27	35.5%																																							
どちらとも言えない(わからない)	13	17.1%																																							
やや悪くなった	3	3.9%																																							
悪くなった	1	1.3%																																							

3 まとめ

<p>改善措置の必要性</p>	<p>【改善点】に関するアンケート結果では、「改善点がある」と回答した人の割合が約36%となっており、施設別では臨港道路が最も多かった。具体的な意見としては、スピードの出し過ぎなどに関するものであり、今後の対応を検討していく必要がある。</p>	<p>問11-1 改善点</p> <table border="1"> <caption>問11-1 改善点</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改善点がある</td> <td>27</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>改善点はない</td> <td>18</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない(わからない)</td> <td>24</td> <td>31.6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>7</td> <td>9.2%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	人数	割合	改善点がある	27	35.5%	改善点はない	18	23.7%	どちらとも言えない(わからない)	24	31.6%	無回答	7	9.2%
回答	人数	割合															
改善点がある	27	35.5%															
改善点はない	18	23.7%															
どちらとも言えない(わからない)	24	31.6%															
無回答	7	9.2%															
<p>再度の事後評価の必要性</p>	<p>上記の改善措置について、今後、状況を確認し適切に対応していく必要はあるものの、「事業効果の発現状況」にあるとおり、全体として事業目的はおおむね達成されているものと判断し、再度の事後評価は必要ないものと考えます。</p>																
<p>今後に向けた留意点</p>	<p>(同種事業の計画・調査の在り方) 本事業では、漁業者等のニーズに応じた漁港整備を行うため、平成18年度に計画変更を1度行ったところであるが、今後の同種事業の計画策定にあたっては、漁業者、地域住民等が構成メンバーとなって設置される「地区環境公共推進協議会」などを通じて、漁港整備等に対するニーズを把握し、計画に反映させるとともに、事業目的や整備内容について、引き続き周知していく必要がある。</p> <p>(事業評価手法の見直し) アンケートの実施にあたっては、漁業の繁忙期を避けるなどの調査時期の設定に工夫が必要である。</p> <p>(同種事業の内容・手法等の在り方) 漁業の担い手となる後継者支援のため、漁業就業者の労働環境の向上を図り、漁業経営の安定に繋がる漁場及び漁港整備を行うとともに、高齢者や女性にも、安全で使いやすい港づくりを行う必要がある。</p>																
<p>特記事項</p>	<p>-</p>																